

平成30年度(2018年度)上益城地域振興局優良功労者表彰 受賞者一覧

(敬称略)

| No | 部門 | 受賞者 | 表彰理由 |
|----|----------------|---|---|
| 1 | 地域の振興・ 発展部門 | ジングウジ タダシ 神宮司 正 | 当地域の風景や観光素材を題材にした味わいある切り絵を作成し、昭和60年代から当局や管内町が作成する印刷物等に積極的に作品データを提供するなど、地域振興に貢献した。 なお、同氏からは、観光や地域振興に役立ててもらいたいとの趣旨で、約150点に上る作品データを当局に提供いただいております。地域団体等が公的目的で使用する場合は、無償で使用してよい旨の承認をいただいております。 |
| 2 | 地域の振興・ 発展部門 | 甲佐町中横田区 代表者 マツナガ ヒロフミ 松永 博文 (所在地：甲佐町) | 週2回、地域公民館を拠点に住民主体(介護サポート支援)で、いきいき百歳体操等の認知症予防の取組や茶話会等のサロンを自主運営。 「地域づくりによる介護予防」を推進するために当局が実施した研修会や見学会において、研修会講師や視察受入れを行うなど、上益城地域における先進モデルとして、住民主体による介護予防の啓発・推進に貢献している。 |
| 3 | 地域の振興・ 発展部門 | 藻川安全連絡協議会 ・株式会社 吉田組 ・株式会社 礎 ・有限会社 山田土木 ・株式会社 高村建設 ・宮本建設株式会社 ・株式会社 枝川工業 代表 株式会社 吉田組 代表者 ヨシダ コノ子 吉田 典子 (所在地：天草市) | 災害復旧工事現場(藻川)で絶滅危惧種である水草ヒラモの生息が確認され、その保護のため「モガワ作戦」と名付けた2万株の移植作業を実施することを決定。流域の関係工事受注業者で組織する「藻川安全連絡協議会」で本活動に参加。資材調達等の事前準備から実施まで中心的に取り組み、地域の他団体との連携強化や地震からの復旧・復興事業のPRにも大きく貢献した。 なお、「モガワ大作戦」は平成30年9月28日に実施し、マスコミ各社にも取り上げられた。 |
| 4 | 工事部門 | 矢部開発株式会社 代表者 ウエダ マコト 上田 信 (所在地：山都町) | 熊本地震で被災した通潤橋、五老ヶ滝周辺の自然公園内遊歩道や損壊施設の復旧工事の施工に際し、狭隘かつ急傾斜で施工条件が悪い中、適切な工程管理のもと人力施工も厭わず創意工夫と熱意をもって工事を遂行し、歴史景観等文化的イメージの回復に貢献した。 |
| 5 | 委託部門 | 株式会社 坂本建設 代表者 ナカザキ ヨウキ 中崎 晃紀 (所在地：山都町) | 山都町の旧矢部町目丸 ^{メマル} 地域を中心とする道路維持補修業務を10年間継続して受託。 地域に精通し、落石、崩土(土砂)除去、構造物補修、除草及び冬期極寒時における除雪・凍結防止等の緊急工事や維持工事に誠実に取り組み、地域交通の安全安心に貢献した。 さらに、今年度新たに発足した地域維持型JV制度※による山都町西部地域の雪氷対策業務を8社JVの代表として受託している。 ※地域型JV制度 地域の維持管理に不可欠な事業につき、地域の建設企業が継続的な協業関係を確保することによりその実施体制を安定確保するために結成される共同企業体(JV)のこと。 |